

9月26日（木） 勉強についての熟議

『勉強に対して、今よりも前向きになれる』ことをねらって、5・6年生が、学校運営協議会委員の方、くすのきボランティアの方といっしょに「熟議」をしました。「熟議」とは、多くの当事者が「熟慮」と「討議」を重ねて課題解決をめざす対話のことで、いろいろな人が集まって、それぞれの立場から話し合い、よりよくしていく活動のことで、これまで学校では大人だけで行うことが多かったのですが、近年、学校の主役であり当事者である子どもたちが「自分事」として考えるきっかけとするため、子ども参加型の「熟議」が増えてきています。



本校では、今年度「学力向上」を最重点取組事項の1つとして全校体制で授業改善などに力強く取り組んでいます。また、PTAの活動方針でも「学ぶ楽しさを家庭学習の習慣で確かな力に」と謳い、大人の側は本気になっています。しかし、当事者である子どもたちはどう考えているのでしょうか。



この日の5・6年生は、将来のことを思い描きながら、今の勉強が何につながっていくのか、みんなですっかり自分事として「熟議」をしようとする姿が見られました。すぐに改善！とはいきません。スモールステップでいいので、少しでも勉強に対して、今よりも前向きになり、「たのしさ」と「やさしさ」あふれる阿武小学校をともにつくってほしいと願っています。





